

北極圏旅行記 2017-2018 冬 (23)

～1/3 ヘルシンキのパーキングメーター～

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



ヘルシンキの市内はトラム(路面電車)が縦横無尽に走り回っている。鹿児島市のように道の真ん中に専用軌道になっているところもあるが、多くは併用軌道なので、自動車も電車と一緒に走ることになる。特に左折の時は、電車に注意が必要だ。異国の首都で、路面電車と事故を起こしたら、両国の新聞に掲載されてしまう。



市内に進入するにつれて、交通量も電車量も多くなってきた。スウェーデンはボルボが多いが、フィンランドはトヨタ車が多い。今回借りたレンタカーもトヨタのナントカという車だった。燃費の良いハイブリット車を予約したはずなのだが、なぜか普通の車で、燃費が悪かった。ハイブリット車は冬の北欧には向かないのかも知れない。



ヘルシンキ中央駅近くの、市中心部までやってきた。北緯 60° に近く、札幌よりもずっと北なのに、雪がまったくくない。走りやすく有難い。ここは何度か歩いたことがあるので、見慣れた風景だ。左側の建物が中央郵便局で、そこを右折すると、お目当てのムーミン専門店がある。



こんな感じで、トラムの線路の上を走る。問題は駐車場所だ。夏に来た時にパーキングメーターがあるのは知っていたが、使い方には自信がない。私は、ヘルシンキ大使館に勤務していた友人に、メールで問い合わせた。

暗い今の時期に1000km走破はさぞ大変であったものと拝察致します。帰路も呉々慎重な運転をお願い申し上げます。こちら東京は素晴らしい晴天の元旦で、とても暖かく感じられます。

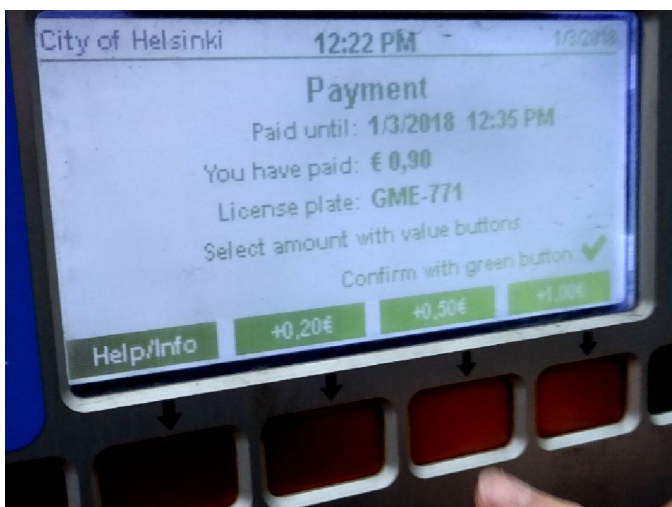
ご照会の駐車の問題ですが、路上に設置されている駐車券発券機は、クレジットカードかデビットカードで支払いができます。かつてはコインで支払っていましたが、今はコイン式は殆どないと思います。[helsinki parking](#) で検索すると支払い方法

payment methods が出てきますので、これをご参照頂けると幸いです。

という非常に親切なお返事をいただいていた。しかしよく調べもしないで、何とかなるでしょ！ぐらいの気持ちで、市内まで乗りつけてしまった。



正確には「パーキング・メーター」ではなく、「パーキング・チケット」だった。これで駐車券を購入して、フロントガラスの内側に置いておくのだ。そのシステムは東京のものと全く同じだ。



タッチパネルの表示は、フィンランド語、スウェーデン語、英語が選べるので、大変助かった。フィンランドは多言語国家で、公共物（道路標識や公共の建物）には、ほとんどスウェーデン語も併記されている。スウェーデン語を話せる人が多いのも有難い。

面白いのは、支払いの方法だ。カードで支払うのだが、日本のように「1時間 300円」ではなく、0.2ユーロ（約30円）ごとに加算できる。加算するごとに、駐車時間が10分ぐらいずつ増やせるシステムだ。最後にナンバープレート番号を打ち込めば完了。なかなか合理的なシステムである。



無事にパーキング・チケットをゲットできた。



何か、航空券のようにいろいろ書いてあるが、要するに13:10まで駐車できますよ！という意味である。



日本のように「駐車枠」は書いてない。「このへんからこのへん」という表示だけだ。止め方が下手な人がいると、駐車可能台数が減ってしまう。チケットのシステムは非常に緻密なのに、駐車方法そのものはアバウトだった。かくして、目的地のムーミン・ショップも目の前に車を停めることができた。